

## 旧庄和町の地域の父母の皆様へ

# 社協、3ブロックとも応募せず！

7月20日に締め切られた、H31年度からの春日部市放課後児童クラブ指定先公募に、社協が応募しなかった事が判明しました。

父母会連絡会では昨年度、「社協への一括指定」などを要望した署名2832筆を集め、1月20日に市に提出しました。また、6月8日には、署名と同じ内容と、予算の大幅な増額を求めた要望書を作成し、あらためて保育課にお願いをしました。6月30日に行われた第1回運営連絡会議では、「3ブロックとも応募するのか？」という父母からの質問に対し、社協は「実績もある事なので、前向きに検討中」と回答しています。

にもかかわらず、社協は公募で示された3ブロック共に応募しませんでした。

## 社協への指定が終了し、来年から別の団体が変わるとすれば・・・

### ・在職中の指導員は来年3月までで全員解雇

社協への指定が終了する来年3月で、現在の指導員（パート勤務含む）は全員解雇されます。新たな指定先で再雇用の機会が与えられる可能性はありますが、その待遇については何の保証もありません。

### ・民間企業が指定を受ければ、指導員の平均給与は下がる事が必須

ここ2年間、春日部市の放課後児童クラブは社協による経営で赤字です。同じ委託料で民間企業への指定が行われたとして、企業としては赤字のままでは許されず、当然利益を出さなければなりません。そのためには、運営費の9割を占める人件費を削るしか方法がありません。

### ・もう既に始まっている・・・欠員による指導員の負担増から、保育の質が低下

直近の3年間、春日部市の放課後児童クラブはずっと指導員の欠員状態が続いています。今年度も既に多くの指導員が退職しており、手薄となった児童クラブでは、外遊びの日数が制限されたり、子どもたちと関わる時間が少なくなっています。民間企業への指定が決まって指導員の待遇が悪くなれば、欠員状況はさらに悪化する可能性があります。それを見越して早期に転職を考える指導員も増えていくかもしれません。

## 指導員も動き出しています。父母からの協力が必要です。

指導員組合ではこの事実に衝撃を受け、緊急総会を開き、議会の協力も求めながら行政への説明要求と、社協への指定を再検討する事を求めて活動を始めています。私たち父母の側からも、指導員が継続的に雇用され、十分余裕を持った配置と待遇を得て質の高い保育を実践できるよう、行政に働きかけを行っていく必要があります。ご協力をお願いします。

春日部市放課後児童クラブ父母会連絡会 <http://gakudou.kids.coocan.jp/>  
(お問合せ) kadoi@ltj.co.jp 事務局 土井